

症例報告7

要旨

ストーマ周囲皮膚の合併症の発生率は高く、ストーマ造設患者の半数以上が生涯のうちにストーマ周囲皮膚の問題を経験しています¹。合併症の種類、原因、それらの治療方法は、それぞれ大きく異なります。医療従事者は、ストーマ周囲皮膚の合併症の管理に多くの時間と労力を費やしています。患者にとって、ストーマ周囲皮膚の痛みは、生活の質に大きな影響を与えかねません。ストーマ周囲皮膚の合併症は、ストーマ造設後の最も一般的な術後合併症です²。この症例報告で、そのような症例の1つをご報告します。

目的

患者に適した面板を選択し、ストーマ周囲に面板が適切に密着することで、ストーマ周囲皮膚の異常を改善させ、健康な状態を維持すること。

患者の概要

患者は中年男性で、潰瘍性大腸炎により回腸人工肛門造設術を受けました。

問題

患者は、類天疱瘡が悪化したため皮膚科に予約を入れた後、ストーマケアナースに緊急の予約を依頼しました。類天疱瘡は、皮膚症状を呈する自己免疫疾患です。最初のかゆみを伴う紅斑性皮疹が生じ、これは数週間から数カ月かけて、液体が充満した水疱となることもあります。水疱は、粘着性の皮膚保護剤の剥離が繰り返されるストーマ周囲皮膚のように、皮膚外傷のある部位に生じることがあります³。この患者には、ストーマの皮膚保護剤の下を含む全身に水疱が生じていました。アセスメントでは、水疱が破れてストーマ周囲皮膚が非常に湿っていました。そのため、皮膚保護剤を貼り付けるのが極めて困難になっており、患者は装具を1日2~3回交換する必要がありました。この皮膚症状が現れる前は、標準的な装着期間のフリーカットタイプの単品系平面型装具を1~2日に1回交換していました。

ケアの実際

セラプラスの二品系平面型装具「ニューイメージ セラプラス」を試してみることにしました。装具は4日間にわたり装着した位置に留まっていただけでなく、ストーマ周囲皮膚の状態にも目に見える変化が現れました(写真1)。患者は皮膚科も受診しており、皮膚科医は経口ステロイド剤にて類天疱瘡を管理していました。

裏面に続く



写真1 4日後、ストーマ周囲皮膚に改善がみられます。



写真2 1カ月後、ストーマ周囲皮膚に改善がみられます。



写真3 セラプラス皮膚保護剤の6カ月使用後、ストーマ周囲皮膚に改善がみられます。

セラプラス™

*リモイス技術使用

寄稿者および略歴

Jo Sica RGN
ストーマケア専門臨床看護師
Hollister Limited

症例報告7

結果

その後1カ月にわたり、ストーマ周囲皮膚の状態は改善し続けました(写真2)。患者は、皮膚に対して皮膚保護剤も粘着剤も快適であると感想を述べました。

皮膚科受診を継続し、その後6カ月にわたり、ストーマ周囲皮膚の状態は改善し続けました(写真3)。患者は維持量の経口ステロイド剤を連日服用していました。ステロイド使用に伴い生じる副作用に皮膚の菲薄化があります。患者はこれを認識しており、装具を剥がす際にはワイプ式粘着剥離剤を使用していました。

結論

ストーマ保有者の多くは、ストーマ周囲皮膚に問題が生じて、ストーマを造設したら、仕方ないこととしてそれらの問題を受け入れていきます⁴。幸い、この患者は支援を求め、ストーマ周囲皮膚は目に見えて改善しました。皮膚刺激を軽減する手段として、ストーマ周囲の十分な密着を達成し、漏れを防止しても、ストーマ周囲皮膚を健康に保つには十分でないこともあります。皮膚保護剤の成分もストーマ周囲皮膚の健康に影響を及ぼします。皮膚保護剤の配合成分と密着性の適切な組み合わせを見つけることは、ストーマ周囲皮膚を健康な状態に維持するために不可欠です。

引用情報:

1. Richbourg L, Thorpe J, Rapp C. *Difficulties experienced by the ostomate after hospital discharge.* J Wound Ostomy Continence Nurs. 2007; 34(1):70.
2. Meisner S, Lehur P-A, Moran B, Martins L, Jemec GBE. *Peristomal Skin Complications Are Common, Expensive, and Difficult to Manage: A Population Based Cost Modeling Study.* PLoS ONE. 2012; 7(5): e37813.
3. Al-Niaimi, F., & Lyon, C.C. (2010). Pre-existing and coincidental skin disease. In Lyon, C.C., & Smith, A. (Eds.), *Abdominal Stomas and Their Skin Disorders: An Atlas of Diagnosis and Management. Second Edition* (158-161). UK: Informa Healthcare
4. Whiteley IA and Sinclair G A *Review of Peristomal Skin Complications Following the Formation of an Ileostomy, Colectomy or Ileal Conduit.* World council of Enterostomal Therapists Journal, 2010; 30(3) p. 23-29.

この症例報告は、特定の患者に「ニューイメージ セラプラス」を使用した場合の一人の看護師の経験を示すものであり、すべての症例に適応できるとは限りません。

ご使用前にパッケージに同梱された「製品の使用目的」「禁忌」「警告」「注意事項」、および「使用方法」を必ずお読みください。

Hollister (ホリスター) のロゴ、CeraPlus、および「Healthy skin. Positive Outcomes. (『健康な肌』からより良い毎日を支える。)」はホリスター社の商標です。

その他のすべての商標と著作権はそのそれぞれの所有者に帰属します。

製品の中にはCEマークがついていないものもあります。

© 2019 Hollister Incorporated.



リモイスはアルケア株式会社の技術です。



製造元 Hollister Incorporated

販売元 株式会社ホリスター

0120-032-950